

倉吉市庁舎ドコモモジャパン選定に伴う公開講座



開催場所 成徳小学校 新館 1階 多目的室 倉吉市仲ノ町77番地

開催日時 令和 2年 2月 1日（土曜日） 14時～16時。

講師
藤木竜也氏（千葉工業大学・准教授）
稲嶋正彦氏（円形劇場 代表取締役）
顚原澄子氏
（ドコモモ対応WG前主査・千葉大学准教授）

講師略歴 1980年千葉県生まれ。千葉工業大学卒
同大学准教授・博士（工学）
米子工業高等専門学校建築学科助教を経て鳥取県文化財保護審議会委員

講師略歴 1956年倉吉市生まれ。明倫小・円形校舎卒。神戸大学卒。
毎日新聞社大阪本社を経て、いなしま酒店勤務

プログラム 司会 宮脇儀裕
（鳥取短期大学教授・日本建築学会会員）

講師略歴 1972年愛知県生まれ。東京大学文学部西洋史学科卒。千葉大准教授・博士（工学）

- ① 挨拶 倉恒俊一（全日本建築士会・倉吉支部長）（約3分）
前原勝樹（日本建築学会中国支部 鳥取支所長）（約3分）
- ② 市庁舎建設の記録映像「倉吉市役所建設の記憶をたどる」を上映。（約20分）
- ③ 講演 倉吉市役所のみどころ（藤木竜也氏・約20分）
ドコモモに認定された円形校舎を、観光にどう生かすか（稲嶋 正彦氏・約20分）
くらしの中での建築保存 顚原澄子氏（約20分）
- ④ 質疑応答
- ⑤ 終わりの挨拶 戸田雅之（鳥取県ヘリテージマネージャー協議会準備会）
- ⑥ 市庁舎見学 ・外観のみ ・西側吹き抜け部分

定員 50名（定員になり次第締め切らせていただきます。）

お問い合わせ先 倉吉市役所建設の記憶をたどる会 F A X 0858 (26) 4025

参加費 無料. e-mail kurado@lime.ocn.ne.jp

主催 一社）全日本建築士会 一社）日本建築学会中国支部鳥取支所
鳥取県ヘリテージマネージャー協議会（準備会）

共催 倉吉市役所建設の記憶をたどる会

後援 一社）DOCOMOMOjapan・鳥取県・倉吉市・倉吉市教育委員会・鳥取県建築士会 学校法人藤田学院鳥取短期大学
・鳥取県建築事務所協会・倉吉観光マイルス協会

申し込み等：裏面の申し込み書に記入の上、FAX又は、E-mailにてお申込み下さい。

ドコモモは「DOCOMOMO=Documentation and Conservation of buildings, sites and neighborhoods of the Modern Movement」と言う国際学術組織です。1988年に近代建築の記録と保存を目的に作られました。本部は、ポルトガルのリスボンにあります。日本支部は当初日本建築学会内ワーキンググループとして設置され、2018年1月からは一般社団法人DOCOMOMO japanとして活動しています。代表は東海大学の 渡邊研司教授。2019年までに国内で226の建物を選定しています。

倉吉市庁舎は2019年 4月に選定されました。

鳥取県内では他に、「皆生の東光園」「倉吉の円形校舎」があります。

岸田日出刀とオリンピック。（岸田のご両親は郷土ゆかりの人です）

岸田は、1940（昭和15）年の東京オリンピックのメインスタジアムの設計の為、ベルリンオリンピック1936（昭和11）年へ視察に行きます。その規模に驚き東京オリンピックのメインスタジアムは、代々木練兵場に作るべきだと主張。（戦争の為中止）

1956（昭和31）年竣工の倉吉市庁舎は、岸田日出刀・丹下健三の共同設計です。

1964（昭和39）年の東京オリンピックで、岸田が、施設の責任者を務め、代々木に体育館（オリンピックプール）を作り、その設計者に丹下健三を指名しました。

2020（令和 2）年オリンピックのメインスタジアムを手掛けた隈 研吾氏は、丹下の系列の建築家です。

2月 1日は、厳冬期なので、大雪などが予想されます緊急の連絡を予定しています。
講師未着の場合は、内容を一部変更する事もあります。

市民公開講座 申し込み先 倉吉市役所建設の記憶をたどる会

F A X 0858-26-4025

E-mail kurado @lime.ocn.ne.jp

市民公開講座 申し込み書

氏名	〒	住所	電話（よろしければ）	懇親会 参加

懇親会 参加費 ￥8.000.-/人

17時から

松原旅館 東町444-1 22-2668。